

市議会だより



【貴族の食膳：長岡京期】

貴族の宴会の食事はたいへん豪華で、真鯛、あわびのウニあえ、うどんの元祖麦縄、古代のチーズといえる蘇（牛乳を煮詰めたもの）、心太（寒天）など、諸国から税として集められた食品が膳に並んだ。



【役人の食膳：長岡京期】

役人たちの食事は、白米を主食に、煮魚やなますがつくことがあった。都が内陸部にあったので、新鮮な魚介類を手に入れることは難しく、干物や鮓が主だった。

第4回 定例会

もくじ

定例会の概要 P 2
議会のうごき P 3
委員会視察報告 P 4
一般質問 P 6
議決結果一覧 P12



向日市

古都のむこう 魅力のふるさと

平成30年 第4回定例会

平成30年度一般会計補正予算など6議案を可決 京都市救護施設等の整備および運用について説明を求める 意見書など3意見書案を全会一致で可決

平成30年第4回定例会は、11月27日から12月18日まで22日間の会期で開かれました。

本定例会では、平成30年度一般会計補正予算をはじめ、向日市職員の給与に関する条例及び向日市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正など6議案が市長から提出され、議員は意見書案5件を提出しました。また、市民からは請願3件が提出されました。

本会議初日は、人事議案2件に同意し、その他の議案2件は所管の常任委員会へ付託し、活発な質疑・意見のもと慎重な審査を行いました。

本会議2日目から4日目は、16名の議員が市政に対する一般質問を行いました。

本会議最終日には、市長から追加提出議案2件を含め、各常任委員長が付託された議案等の審査経過と結果を報告し、議員は議案等に対する賛成・反対討論を行いました。採決の結果、議案4件・意見書案5件を原案可決とし、請願2件を採択しました。

※議決結果一覧は、P12に掲載しています。

可決された主な議案

自治功労表彰について

本市の教育行政の推進に取り組み、広い視野で教育委員会の円滑な運営に努められ、学校教育及び社会教育の振興に多大の貢献

まえだ のぶゆき
前田 信行 氏 (上植野町西小路)

人事議案に同意

【固定資産評価審査委員会委員】

うえだ しげる
上田 繁 氏 (上植野町西小路)

平成30年度向日市一般会計補正予算(第4号) 5343万7千円の増額

平成30年度向日市一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出予算総額にそれぞれ、5343万7千円を追加するもので、これにより予算総額は197億6912万8千円となりました。
補正予算歳出の主な内容は次のとおり。

- ◎民間保育所運営補助事業費 ……1598万5千円
(民間事業所が設置する保育所の整備費に対する補助金)
- ◎災害対策事業費 ……1937万8千円
(大雨による市道の路肩陥没等の復旧に要する工事費750万円及び台風により倒壊し、被災したパイプハウスなどの復旧費用に対する補助金1187万8千円)
- ◎学校施設管理費 ……1707万4千円
(学校施設の空調設備及びブロック塀の安全対策に要する費用)
- ◎教育助成費(小学校) ……68万円
(図書購入費)
- ◎教育助成費(中学校) ……32万円
(図書購入費)

向日市職員の給与に関する条例及び向日市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に準じ、職員の給料表及び勤勉手当並びに市長等特別職の期末手当の額の改定を行うため、「向日市職員の給与に関する条例」及び「向日市長及び副市長の給与に関する条例」の一部を改正するものです。

① 職員の給料表の額及び勤勉手当の支給月数を、国の人事院勧告に準じ引き上げ、平成31年度以降における期末手当及び勤勉手当の支給月数を、6月及び12月に均等に配分するよう改めるものです。

② 市長及び副市長の期末手当を、職員の給与改定に準じ引き上げ、平成31年度以降における期末手当の支給月数を、6月及び12月に均等に配分するよう改めるものです。

また、市議会議員及び教育長の期末手当についても、条例で「市長及び副市長の給与に関する条例」に基づくこととされており、同様に改定されます。

なお、この条例は、平成30年12月18日に施行されましたが、給料表については、平成30年4月1日に、勤勉手当及び期末手当については、平成30年12月1日に遡及して適用されます。

議会のこいね

10月	乙訓環境衛生組合議会
2日	乙訓福祉施設事務組合議会
3日	埼玉県秩父市議会議員視察来庁
4日	乙訓消防組合議会
9日	福井県あわら市議会議員視察来庁
11日	群馬県藤岡市議会議員視察来庁
17日	建設環境常任委員会所管事務調査
22日	(山口県周南市、23日山口県防府市)
29日	議会運営委員会 会派代表者会議
5日	京都市市議会議長会(福知山市)
8日	総務文教常任委員会所管事務調査 (東京都中野区、9日埼玉県戸田市)
11月	厚生常任委員会所管事務調査 (埼玉県川口市、9日埼玉県坂戸市)
13日	千葉県銚子市議会議員視察来庁
14日	議会運営委員会所管事務調査 (神奈川県秦野市、15日神奈川県藤沢市)
21日	議会運営委員会
27日	本会議 第1日(第4回定例会)
30日	議員全員協議会 新庁舎等建設特別委員会 乙訓市町議会議長会(京都市)

12月	議会活性化特別委員会
4日	議会運営委員会
5日	本会議 第2日(一般質問)
6日	本会議 第3日(一般質問)
7日	本会議 第4日(一般質問)
10日	厚生常任委員会
11日	建設環境常任委員会
12日	総務文教常任委員会
13日	議会運営委員会
17日	本会議 最終日
18日	厚生常任委員会
21日	建設環境常任委員会
25日	総務文教常任委員会
26日	議会運営委員会
	乙訓環境衛生組合議会
	乙訓福祉施設事務組合議会
	乙訓消防組合議会



議会運営委員会・3常任委員会 所管事務調査（行政視察）報告

議会運営委員会

11月14日 神奈川県秦野市

「議会活性化の取組について」

11月15日 神奈川県藤沢市

「議会改革について」

秦野市では、7年前に議会基本条例が策定され、議会報告、意見交換会などに取り組みられていました。タブレット端末機導入を図られ、傍聴者からよく見えるように議場に大型スクリーンを設置されていました。また、夏休み子ども見学会の実施や議会基本条例の検証に取り組むなど、活発な議会活性化を学ばせていただきました。

藤沢市では、開かれた議会、市民に親しまれる議会を目指し、当時、改革に熱心であった議長の諮問により、協議を進め、議会基本条例を制定されました。条例に基づいて、広報広聴委員会を設置し、議員研修や議会図書室の充実、議会報告会を開展させた意見交換会の実施など、積極的に議会改革に取り組まれました。



議会運営委員会（秦野市）

総務文教常任委員会

11月8日 東京都中野区

「学力向上のための施策」

11月9日 埼玉県戸田市

「シティセールス戦略」

中野区では、「中野区教育ビジョン実行プログラム」を作成し、一人一人の可能性を伸ばす教育として、教育マイスター制度の実施や「任期付き短時間勤務教員」の取り組みが実施されていました。また、年度初めに独自の学力テストを実施し、目標達成度を調査し、実態に応じた具体的な取り組みが行われていました。

戸田市のシティセールス戦略は、ブランド化の対象を住環境とし、ターゲットを地域外住民に絞られています。

戸田市は、生活するうえでの利便性が高く、質の高い子育て支援サービスや教育に力を入れておられ、それらを効果的に情報発信することにより、市の認知度と都市イメージを向上させることに成功していました。



総務文教常任委員会（中野区）

所管事務調査報告

議会は本会議や委員会で議案などの審議を行うだけでなく、他都市の状況を調査することでより見識を深め、本市の行政に反映できるよう所管事務調査を行っています。

なお、議員による研修報告書は市役所1階情報公開コーナーで閲覧できます。

厚生常任委員会

11月8日 埼玉県川口市
「待機児童対策・保育士確保」
11月9日 埼玉県坂戸市
「葉酸（ようさん）プロジェクト」

川口市では、平成27年度当初の国基準待機児童数が221人であったところ、平成30年度当初においては82人まで減少されました。そのための施策は、保育所の誘致促進策として、固定資産税等減免制度・民間保育所整備補助や、保育士確保策として、保育士宿舍借り上げ事業・市単独事業の保育士賃金補助事業など力を入れて実施されていきました。

坂戸市では、食を通じた健康なまちづくり事業の一環として、葉酸プロジェクト事業に取り組んでおられました。葉酸は、緑黄色野菜に多く含まれるビタミンB群の一種で、葉酸の摂取不足と動脈硬化には深い関連があると言われています。坂戸市にある女子栄養大学と連携して、葉酸の摂取の促進を進められていました。



厚生常任委員会（坂戸市）

建設環境常任委員会

10月22日 山口県周南市
「徳山駅周辺整備事業及び徳山駅前賑わい交流施設」
10月23日 山口県防府市
「防府市空家等の適正管理に関する条例及び防府市空家等対策計画の概要と実施施策」

周南市では、中心市街地の活性化のために、駅南北自由通路、賑わい交流施設、駅前広場の整備が行われていました。賑わい交流施設は指定管理者により運営されているカフェ併設の図書館、書店、市民活動支援センター、飲食店舗で構成されており、訪れる方へのおもてなしの場所、住んでいる方への居場所、まちの賑わいと交流の場として活用されていきました。

防府市では、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進するため条例を制定され、具体的な対策・取り組みのあり方として、対策計画を策定されていきました。実施施策として、シルバー人材センターによる空家の管理業務、危険空家解体費の補助、放置空家を防ぐための周知・啓発をされていきました。



建設環境常任委員会（周南市）

主な質問と答弁

一般質問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

議会の傍聴は、市民はもとよりすべての人ができます。

本会議の当日、受付で住所、氏名などを記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は、市役所本館1階ロビー、2階休憩室、東向日別館3階のテレビモニターで生中継しています。

なお、一般質問の事項は、公共施設等で事前に公表されます。

議会事務局 931-1111 (内線318)

第4回定例会での一般質問は、12月6日・7日・10日の3日間にわたり行われました。

質問・答弁とも1人2問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは2月末頃、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

向日市議会 を入力して 検索 クリック

ふるさと創生推進部長
休憩所の設置箇所は、特に竹の径の入口にあたる第6向陽小学校の校内西北にある角地を候補地として検討している。トイレを含めた休憩所としての機能はもちろん、何かを買うことができるスペースの確保を検討したい。

じゃらんニュースの「行ってみたい新緑絶景」ランキングで堂々の第1位となった竹の径への更なる観光客誘致には、休憩所や売店等の設備も必要となる。この数年で、ご当地のお土産も相当数が増えた今、竹の径入り口の6向小の西北角地に整備することは如何か。

竹の径の更なる活用について



新政クラブ
天野俊宏議員

災害備蓄物資の分散配備について

備蓄物資は、向日市備蓄計画に基づいて配備されているが、大規模災害等に備え、避難所である公民館・コミセン等に食料品・飲料水などを普段から分散して備蓄することは如何か。

環境経済部長 大阪北部地震の際、多くの公共交通機関が運行を見合わせ、一部の職員が参集不能であった状況を勘案すると、物資を搬送することは困難であり、迅速に物資提供ができるよう公民館やコミュニティセンターなど各避難所に備蓄物資の分散化を進めたい。

○その他の質問
待機児童解消について
安田市政の総括と今後について

救護施設について



公明党議員団
長尾美矢子議員

向日市に隣接する京都市伏見区羽束師菱川町に建設予定の救護施設は、最後のセーフティネットとして重要な施設と認識しているが、近隣の方からは、いろいろな情報の中で、様々な不安なお声をお聞きしている。まだまだ丁寧な説明が不足しており相互理解、信頼関係を築く努力が必要と感じている。向日市のご見解をお尋ねする。

副市長 この事業は京都市の事業であり、本市が事業に対し指導や意見を表明することはできないが、不安を可能な限り解消できるよう、京都市及び社会福祉法人みなと寮に対し、市民のご意見をお伝えし、丁寧な説明が行わ

れるよう求めたい。

高齢者肺炎球菌ワクチンについて

高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種制度は、65歳以上のすべての方に接種機会が与えられるよう5年かけての取り組みである。接種できなかつた方への救済措置について伺う。

市長 厚生科学審議会予防接種基本方針部会で、平成31年度以降、未接種者に対し何らかの対応をされるかどうかの検討をされており、平成30年内に結論が出ると伺っている。国の動向を注視し、国、京都府に対し、65歳以上全員の接種機会の確保を図るよう要望したい。

○その他の質問
がん対策について



MUKOクラブ
和島一行議員

新学習指導要領について

2020年からの新学習指導要領ではプログラミング教育が必修化される。本市の学校のICT環境整備はこれからどのようにするのか、そしてプログラミングを指導する教員の技術習得の進捗状況を伺う。

教育長 プログラミング教育を実践されている小学校教員を招き、教職員研修を実施した。今後、教員のプログラミング体験研修を推進し、先進地の取り組みや他市町の状況を参考に、ICTの環境整備も含め、実情に応じたプログラム教育の在り方を検討したい。

これからの行政改革について

市が管理する女性活躍センターあすもあの予約や体育館調整、その他の予約は何十年と変化をしていない。将来的にパソコンやスマートフォンから予約できるシステム化を考えているのかを伺う。

市長 施設予約システムの導入は、導入コスト、利用者の登録手続きやパソコンやスマートフォンを使わない方の利用方法、受付事務の見直し等の検討が必要で、新庁舎建設に合わせて既存システムの刷新を検討しており、その中で検討したい。




日本共産党議員団
松山幸次議員

「救護施設」は見直しを

11月23日夜、上植野公民館で京都市とみなと寮による「救護施設」の説明会が開かれ300人を超える市民が参加した。市民から情報公開なく12月工事開始の動きに厳しい批判が寄せられ、①住民合意なく工事は行わない。②改めて説明会を開催し、協議の場を持つこと。が確認された。そこで次回説明会に向日市が同席することや、建設用地を見直すことを問う。

副市長 国の基準では、救護施設等は、利用者に対し、健全な環境のもととどとあり、健全な環境とは、厚生労働省通知で、利用者の生活を健全に維持するため

に、ばい煙、騒音、振動等による影響、交通の便等を十分考慮して設置され、かつ、その設備が利用者の身体的精神的特性に適合していることとされ、京都市で基準や通知に基づき判断されたと考ええる。

コミバスは南北ルート同時運行を

コミバスの早期運行は市民の願い。南ルートについて阪急バスの協力により778系統の見直しを行い、3月運行開始へ全力あげよ。

建設部長 778系統の朝夕と土曜・日曜の便を残し、平日昼間の時間帯はコミバスルートで走行する案が出ており、阪急バスや運輸局と協議を重ねている。

○その他の質問
憲法9条改憲許さず
水道料金値下げ
市民会館の整備計画



飛島井佳子議員

安田市長は脱原発を主張すべきでは

福島原発の事故故を見てわからない国や政府に人々の生命をまかせておくことは、地方自治体として完全に無責任である。向日市のリーダーが政党やイデオロギーに左右されず、日本をより良く変えて防災意識を根づかせるスタートを切るべきだが？

市長 原発は廃止すべきであると考えている。今もその思いに変わりはなく、特に私が2年前に、全国市長会から東京電力福島第1原子力発電所の視察に行った際、東日本大震災による災害の惨状を目の当たりにし、原子力事故の恐ろしさについて改めて認識するとともに、

に、1日も早く原子力エネルギーに頼らない社会を実現すべきであるという思いが強まった。

阪急東向日駅前を明るく安全に！

台風21号で、商工会の照明が破壊されてしまい、阪急バスさんとも夜は駅前が真っ暗になっており、大変危険である旨、訴えられている。市のメイン駅前で、踏切も近くにあり、夜は恐ろしくて危険な状態であり、どのように対応されるのか。

建設部長 駅利用者が歩道を安全に通行していただけるよう、照明施設を設置したい。

○その他の質問
児童虐待防止対策強化
障がい者を街の中心に
北野台裁判について



新政クラブ
清水敏行議員

前田地下道(JR)の改修について

前田地下道は、向日市のほぼ中心を東西に通っている重要な道路であるが、西側は変則な丁字交差点となっており、その各方向先は生活に必要な施設へと繋がり、交通量が多く危険となっている。更に3校小の児童(107人)の通学路となっている。歩車道は分離されているが、長さが200mあり、自転車は乗車禁止であるが距離が長いいため、乗車しているのも見受けられる。その解決策として

①歩道の拡幅工事は出来ないか。
②西側交差点に信号を付けられないか。



建設部長 地下道全体や歩道を拡幅すること

は、地下道北側の水路や南側の石田川の付け替え、軌道下の道路を拡げる高度な技術など、数多くの解決すべき課題がある。

信号機の設置は、交通安全対策について、これまでから向日町署に要望してきたが、通行する車両が錯綜しており、信号機を設置することで交通が阻害され、渋滞が生じるおそれがあること、地下道内で事故などが発生した場合に迅速な対応が難しくなることなどから、設置は困難であると伺っている。

○その他の質問
車の自動運転化・電動化について



公明党議員団
福田正人議員

終活支援について

終活支援「エンディングサポート事業」は、市が市民からの希望により、葬儀等に関して仲立ちとなり、葬儀や納骨先の契約を葬儀社と結ぶ支援であるが、低年金や無年金の方には、経済的な余裕がない。こうした高齢で身寄りのない方々への支援であるこの事業について、見解を聞く。

市長 平成30年3月に策定した「こうふくプラン向日」の基本理念である「住み慣れた地域で高齢者がいきいきと安心して暮らせるまち」をもとに、ご本人の意志の尊重を第一にして、他市の事例も参考に、関係機関と連携しながら各事業を実施したい。

本市の災害食料備蓄計画について

現在、本市の乳幼児用のミルクの備蓄は、粉ミルクのみである。厚労省は、新たに製造基準を設定し、液体ミルクの製造を認めた。避難場所での利用に適しているが、備蓄を検討しては如何か。

環境経済部長 西日本豪雨の際に岡山県倉敷市等の要請を受け、東京都が液体ミルクを提供した事例もある。お湯の調達が困難な災害時の活用が期待されており、今後、粉ミルクに代えて液体ミルクの導入を進めていきたい。

○その他の質問
死亡手続きのワンストップ化について



MUKOクラブ
太田秀明議員

(仮称) 救護施設みやこについて

情報提供の遅れや説明不足により近隣住民の不安を増幅している。本市にできることは何か、しなければならぬことは何か。また、京都市に対し意見表明できないと聞くが、何が障害か。

副市長 この事業は京都市の事業であり、自治法上、市域を超えた建物について、本市が事業に対し指導や意見を表明することはできない。京都市及び社会福祉法人みなと寮に対し、市民のご意見をお伝えし、丁寧な説明が行われるよう求めたい。

もずめクラブについて

もずめクラブ設置を保育所運営の条件とした理由は何か、また事業内容は本市が求めるものと合致しているのかどうかを聞く。

教育長 留守家庭児童会の入会児童数が増加し、開会時間の延長等の声があり、公立では対応できず実施していないサービスを提供するため併設を条件とした。もずめクラブは延長預かり、夕食の提供等、公立で対応できなかった事業内容で好評であると認識している。

○その他の質問
大型事業について
国際交流について





台風21号の被害からの復旧は

未だに屋根にブルーシートが張られているところが見受けられる。台風21号被害に遭われた市民の皆さんにお見舞い申し上げる。今回被害の罹災証明の発行、災害用廃棄物の回収状況と被害を受けた市道路等の復旧はされたか。

環境経済部長 11月末時点で、住家被害の罹災証明発行件数271件、災害廃棄物運搬総重量約134トンである。道路の通行規制はすべて解除しているが、はり湖池南側での道路陥没は、今年度中に復旧する見込みである。

停電発生時の市民への情報確保は

市内の一部地域で約2日間もの停電が発生した。電気、水道などのライフラインがストップし市民生活へ影響があった。停電時に市民への情報を提供できるように関電との「情報協定」を結び、市民に情報共有できるようにすること。

環境経済部長 関西電力で、台風21号対応検証委員会での取りまとめ結果を踏まえ、停電からの早期復旧と情報提供体制を構築されることを考えており、現時点では協定の締結は必要ないと考える。引き続き関西電力と連携を密にし、必要な情報を必要な時に提供できる仕組みの構築に努めたい。

○その他の質問
向日町警察署に府道の交通安全対策を急げ
再生エネルギー普及を



コミバスの南ルートはどうするか？

上植野地域は長岡京方面へのアクセスが日常生活で重要であり、コミュニティ・バスの南ルートを運行するために、既存の阪急バス77、78系統の廃止または減便は大変困る。既存路線の見直しは、コミバスとは別に議論して頂けないか。

建設部長 阪急バスや運輸局との協議で、運転手不足解決とコミバス運行を両立するため、77、78系統の既存路線の一部を再編し、コミバスとして走らせる案が出た。粘り強く協議を重ね、一日も早いコミバスの運行開始に向けて、地域公共交通会議で決定いただきたい。

向日町駅東口開設事業費の見込みは

JR向日町駅東口開設事業の調査・検討が進められているが、「市民負担の軽減を図ることが大前提である。未だに事業費の見込みについて具体的な報告が全く無いが、もし当初の想定から大きく変わる場合は、議会に報告し、説明するべきではないか？」

企画理事 駅整備の市負担は、駅関連施設の基本設計や補償調査、民間事業者が再開発事業で整備する駅ビル事業計画の作成を終えた段階で明らかになる。関係機関との協議を終え、駅整備の市民負担軽減が図られた時点で市議会へ報告したい。

○その他の質問
保育所待機児童の解消策について



地区防災計画について

災害発生直後は行政機能のマヒにより「公助」に期待できないことが多いことから「自助・共助」により自分や家族の身を守るともに近隣住民や地域での助け合いが重要である。そこで地域の防災力を高める取り組みとして、住民自らが「地区防災計画」を作成するための支援を市として行うべきであると考えられているか。

環境経済部長 地区防災計画の作成に前向きな自主防災会などから協力の要請がある場合には、計画策定に係る具体的な相談など、必要に応じた支援に努めたい。

安田市長の今後の決意について

これまで約4年間、市政の舵取りを担ってこられた安田市長の今後の市政運営についての決意をお伺いする。

市長 公約に掲げた施策の中には達成できたもの、JR向日町駅東口開設事業など、今なお進行中のものもある。施策や事業を最後まで成功させることも私の責務であると感じており、今も少しでも各施策の進捗が図れるように全力を傾注したい。





日本共産党議員団
米重健男議員

国民健康保険について

国保財政健全化のためと滞納世帯に対する取納率向上に取り組んだが、この間の事務報告等を見る限りでは効果は限定的であった。不正に支払わないのではなく、支払いたくても支払えないことの表れではないのか。今後、滞納世帯の状況について調査・分析が必要であると思われるがどうか。

市民サービス部長 納付の意思はあるが資力がなく納付できないのか、資力はあるが納付に足りないのかを適切に見極めることが重要であり、そのためには滞納世帯と接触を図る必要がある、短期被保険者証を活用し、預金

口座等の資産調査も行う、滞納世帯の状況の調査・分析を行いたい。

前田地下道について

改修について、国や府に対し本市として具体的な要望を計画として提案するなどすべきではないか。

建設部長 限られた幅員の中で、歩行者や自転車等の安全確保が図れるよう京都府や向日町署等の関係機関と連携して啓発活動や様々な交通安全対策に取り組んでおり、引き続き、必要に応じた交通安全対策を検討したい。

○その他の質問
JR向日町駅東口開設事業及び森本東部地区再開発事業について



村田光隆議員

高齢者施設死亡事件の対応を伺う

市内の特別養護老人ホームで、91歳の入居者が暴行の疑いで亡くなられた。死亡に不審な点があり、救急搬送した消防から、本市に連絡があった。対応を伺う。

市民サービス部長 通報があった当日は、通報に係る事実を京都府に報告し、直ちに保健所職員とともに施設を訪問し、事実確認を行った。その後は、施設への接触を控えることとなり、どのように対応するかを整理し、確認すべき事項や聞き取り項目、調査の手順を京都府、乙訓保健所と連携し協議を重ねた。

障害者雇用率制度の遵守を求める

官公庁の障害者雇用の恣意的な水増しが明らかになった。本市では、雇用水増しの不正はないが、分母となる職員数に非常勤職員を含めていなかったため、本来の雇用率も変わってくる。今後雇用率計算に間違いが起これば、法定雇用率を下回らないように、障害者雇用を増やすべきではないか。

市長 障がいのある方が意欲と能力を発揮し活躍できる場の拡大に取り組むため、計画的に採用試験を実施し、法定雇用率だけにとらわれず、障がいのある方の働く場の確保のため積極的に採用したい。

○その他の質問
放課後等デイサービスについて



日本共産党議員団
常盤ゆかり議員

3学期開始の中学校給食について

いよいよ1月21日から中学校給食が始まる。スタートをスムーズにするためには、校時表の変更などの調整が必要ではあるが、給食センターから届けられた食缶を生徒が階段を使って運ぶことになり、負担がかかる。リフトなどの設置は考えておられるかどうか。

教育長 リフトの設置等、建物の増築や改築を行う場合は、建築基準法に定める構造計算適合性判定が必要となる。建築基準関係規定の適合を図るためには時間と経費が必要となり、3中学校同時に給食を開始する時期に遅れが生じるため、リフト等の設置は見送った。

留守家庭児童会の増築について

第2と第4留守家庭児童会(学童保育所)は、入会児童数の増により学校施設を利用するなど既存施設以外で放課後を過ごしている児童会施設の増改築計画について聞く。

教育長 第2留守家庭児童会は、既存留守家庭児童会施設の横に1クラス分を増築し、平成31年度末までには開所したい。第4留守家庭児童会は、平成32年度開所を目指しており、3クラス分を既存留守家庭児童会施設の横に増築する予定である。

○その他の質問
適応指導教室の開室日拡大及び、教育支援センターの設置について



日本共産党議員団
北林重男議員

最悪の不公平 税制が消費税だ

年収別の消費税負担率は税率8%で年収二千万円以上世帯で1.5%、年収二百万円未満世帯で8.9%と7.4ポイントも上回る。税率が10%になれば格差はさらに広がる。市は低所得者ほど負担の重い最悪の不公平税制が消費税だとの認識はあるのかを問う。

総務部長 国において、消費税率の引き上げに伴い、低所得者に配慮する観点から、酒類、外食を除く飲食料品等を対象に軽減税率制度を実施し、低所得者の負担を抑える対策を講じられ、消費税率10%への引き上げは国で議論をされるものである。

高すぎる国保料、 重い窓口負担

国保料が高すぎるため滞納が全加入世帯の約15%だ。重い窓口負担が受診抑制を生んでいる。市は国保料を下げる、重い窓口負担解消のため、国に財政負担を強く求め、一般会計からの繰入増や窓口負担の軽減策などを積極的にを行うのかを問う。

市民サービス部長 国保の財政支援等は、全国市長会を通じて平成30年11月、国に対し要望を行った。法定外繰入れは、国民健康保険運営協議会で公平性の観点から理解が得られないとの意見。窓口負担は、子育て支援医療や福祉医療、老人医療等軽減を図っている。

○その他の質問
障害福祉の制度拡充を



日本共産党議員団
山田千枝子議員

待機児童解消・市民 の声を民間園に

平成32年の春開所予定員100名規模の民間保育所が建設される。ふるさと向日市創生計画で待機児童の解消目標をゼロにと質してきたり、入所できなかった保護者の声等、保育所問題解決へと道を開いてきた。来年度の待機児童対策はどうか。

市民サービス部長 真に保育が必要か否かをしっかりと審査をすることに加え、第2保育所在籍の保育士を他の公立保育所に異動する等、保育士不足に対応し、現状を上回る弾力的な児童の受入れを行い、保育の必要な方にご利用いただけるよう努めることで、前年度に比べ待機児童を減少

させることが可能と見込んでいる。

災害時の要配慮者 の避難対策窓口を

台風21号などによる被害で、自然災害への恐ろしさを目のあたりにし、未だにブルーシートで屋根を覆っている家が市内で残っている。特に高齢者・障がい者・難病などの方は不安だったとの声を多く聞いた。要配慮者の災害時の避難の相談窓口の設置を。

市民サービス部長 災害時には総合的な窓口として災害対策本部を設置しており、お困りの際はそちらにご相談いただければ、状況に応じて必要な支援をさせていただきます。

○その他の質問
政策の説明不足と市長のトップダウン市政北部のまちづくりは

インターネットで 定例会の様子をご覧いただけます

市民の皆様がより傍聴しやすい環境づくりを推進するため、YouTubeのサイトを利用して、インターネット上で本会議や常任委員会の様子を配信しています。パソコンやスマートフォンでも、本会議や常任委員会の様子をライブ中継や録画映像でご覧いただけます。

◎方法/市ホームページ「総合トップ」→「くらしのページ(ホーム)」→「市政」→「市議会」→「議会映像配信」からご覧ください。

※視聴にあたっては、ホームページ記載の免責事項をご確認いただき、ご了承いただきますようお願いいたします。

2月20日(水) 本会議(提出議案等の説明)

3月 4日(月) 本会議(一般質問)

5日(火) 本会議(一般質問)

6日(水) 本会議(予備日)

8日(金) 厚生常任委員会

11日(月) 建設環境常任委員会

12日(火) 総務文教常任委員会

19日(火) 本会議(議案等の討論・採決)

第1回
定例会の
予定

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。今回から、常任委員会は第1委員会室(西別館1階)で開催します。

なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。議会事務局 931-1111(内線318)

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、退=退席 欠=欠席 ※議長（永井）は、可否同数以外は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	日本共産党議員団					新政クラブ				公明党議員団			MUKOクラブ			無会派	
			松山	常盤	丹野	北林	米重	山田	清水	上田	永井	天野	小野	長尾	福田	富安	近藤	和島	太田

賛否が分かれた議案等

議案70	向日市職員の給与に関する条例及び向日市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×
議案71	平成30年度向日市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×
請願5	向日市を子育てしやすい町にするために保育所のよりよい環境づくりを求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	○	○	○	×
意見書14	沖縄の民意を尊重し辺野古の新基地建設を強行しないことを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	-	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	×
意見書17	混乱を招く来年10月からの消費税増税の中止を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	-	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	○

全会一致（全議員賛成）

議案66	自治功労表彰について（前田 信行氏）	同意
議案67	固定資産評価審査委員会委員の選任について（上田 繁氏）	同意
議案68	平成30年度向日市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案69	京都市市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
請願3	幼児教育振興助成に関する請願	採択
請願4	建設予定の救護施設に関し、京都市への要望提出を求める請願	採択
意見書15	義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書	原案可決
意見書16	無戸籍問題の解消を求める意見書	原案可決
意見書18	京都市救護施設等の整備および運用について説明を求める意見書	原案可決

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。

報告

平成30年第4回定例会において全会一致で可決した、京都市救護施設等の整備および運用について説明を求める意見書を、平成30年12月27日に京都市長へ提出しました。



左から永井議長、村上京都市副市長

議会事務局が西別館に引越しました

10月から進めていました西別館の改修工事が終了し、議会事務局等が次のとおり引越しましたので、お知らせします。

【西別館1階】 議会事務局、議長室、第1委員会室、第2委員会室
 【西別館2階】 議員控室、第3委員会室

編集後記

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
 昨年12月には平成30年第4回定例会も終わり、年明けには中学校給食が始まりました。
 これまで給食実施に奔走された市民の皆様のご尽力には万感胸に迫るところでございます。
 まだまだ取り組むべき課題も多々ございますが、本年も、市民のための向日市議会を目指して、議員一同、全力で取り組んでまいります。
 <議会だより編集委員会>